



# 「白神ねぎ」販促ステッカーデザイン決定!

ねぎ産地としての更なる飛躍と、消費者から親しまれる「白神ねぎ」のブランドイメージアップに向け、JAでは白神ねぎの販促ステッカーを募集しました。この取り組みは、白神ねぎの作付面積拡大・反収増、販売kg単価20円増以上など目的とした、「白神ねぎ10億円販売達成プロジェクト」の一環として行いました。

今年7月から募集を開始し、34点のデザイン応募を頂きまして、誠にありがとうございました。プロジェクト委員会および理事会で検討した結果、木村大樹さん（能代市小土）のデザインが、販促ステッカーとして採用されました。



製作者 だいき 木村 大樹 さん

このステッカーは、今後白神ねぎを取り入れた管内外のイベント等に使用し、販売促進・知名度向上に利用してまいります。

## 製作者の意図

モノを売る時に使われる表現で、【しずる】という言葉があります。【しずる】…油で揚げたり、熱した鉄板に水を落とした時に、ジュウジュウ音を立てる様の意味。転じて広告表現で、消費者の五感に訴えて購買意欲をそそる手法。または購買意欲。

「食品の販促として、イラストやキャラクターで表現するのではなく、ストレートにねぎの写真を使うことで、しずる効果でより五感に訴えられると思いました。写真がすべて見えないようにしたのは、“実物はどのようなものだろう？”と見た人に興味をわかせる狙いがあります。またタイトルと写真を白神産の他農畜産物に置き換えることで、デザインの統一による「白神産のブランドイメージ」を確立に役立てられればと考えました。」

